



2020年 読書感想文全国コンクール

課題図書



今年の課題図書、伊丹市すいせん図書を紹介します。

課題すいせん図書を借りたい人は、以前配布した「予約用紙」を提出してください。
課題図書すいせん図書以外の読書感想文や帯作りにおすすめの本を、
図書館内に展示していますので、ぜひ借りに来てくださいね！

【天使のにもつ】いとう みく



「頼んでまでして、なんで仕事しなきゃなんないの？しかもタダで」そんな中学2年・斗羽風汰が職場体験先を選んだのは、保育園だった。

「子どもと遊んでりゃいいってこと？ありかも」
本当に大丈夫なのか！？斗羽風汰！！

天真爛漫な中学2年生が関わる、園児たち、園長や職員たちとの触れ合いが新鮮な、風汰の5日間の物語。

#成長 #生きる力 #家族 #職業 #挑戦 #自分らしさ

世の中を冷めた目で見て、おちゃらけながら毎日を過ごし、職場体験も適当に終わらせようと思っていた風汰が、この保育園での出会いを通じて、仕事の大変さや、命の大切さ、自分のふがいなさを知り、大きく成長していく様子が、読みやすい文章で生き生きと描かれています。

「職業体験」「保育士の仕事」「人と人との出会い」「命の大切さ」「家庭環境」「介護問題」...と、たくさんのテーマが盛り込まれていて、何度も何度も繰り返し読みたくなるような小説です。ラストが本当に素晴らしく、「エンジェル保育園」の園長先生みたいな人に出会いたくなりました。

【11番目の取引】アリッサ・ホリングスワース



アフガニスタンからの難民としてアメリカにやってきたパシュトゥーン人のサミと祖父。タリバンに家族や親せきを殺され、二人は身を寄せ合いながら生き抜いてきた。ところがある日、祖父の生きる術であり、心の拠り所だった伝統楽器ルバブが奪われてしまう。買い戻すには1か月以内に700ドルが必要だ。サミは友だちの助けを借りて物々交換を始めるが...

人との繋がりを失いながら生き延びてきたサミが、取引を通じて、人との繋がりを取り戻す姿を描く。

#友情 #生きる力 #家族 #歴史 #挑戦 #旅 #戦争 #自分らしさ

外国版「わらしべ長者」のような物語。ワクワクしながら読めました。

作者は実際にアフガニスタンに滞在していたこともあり、姉がタリバンに攻撃された経験もあり、ドキュメントとして読むことも出来ると思います。

世界中で今なお続いている、紛争や難民のことについて、深く考えるきっかけになる一冊です。

【平和のバトン】弓狩 匡純



「このままでは、原爆のことが忘れられてしまう」と、勇気を振りしぼって話しはじめた被爆者の声を、そして見た光景を、広島で美術を学ぶ高校生が絵にして記録する「次世代と描く原爆の絵」プロジェクトが2007年にスタートした。

今を生きる高校生たちが、証言者と密に接することで、戦争や原爆を見つめなおしていくさまを綿密に取り材して描いたノンフィクション。

#家族 #成長 #挑戦 #戦争 #平和 #歴史 #絵画

写真には残っていない原爆投下直後の町や人々の様子を、実際に経験した人から話を聞き、絵画で残していくというプロジェクト。話す側、聞いてそれを絵にしていく大変な作業を通じ、「絵」の力、「人」の力を感じることで出来るドキュメントです。実際の絵画も多数掲載。